

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第 33 回 LLW 放射能評価分科会議事録

1. 日時： 2017 年 10 月 5 日（木） 13 時 30 分～16 時 00 分

2. 場所： 原子力安全推進協会 B 会議室

3. 出席者 （順不同，敬称略） 開始時

（出席委員） 川上（主査），北島（幹事），泉田，尾崎，松居，田辺，亀尾，佐々木，見上，
伴場，脇，池戸（12 名）

（代理出席委員） 相澤，松山，鈴木（3 名）

（欠席委員） 高橋，三宅，田中（雄）（3 名）

（常時参加者） 井上，田中（正），林（隆），梅原，漆戸，柏木，乾，西尾，林（宏），本山
（10 名）

（欠席常時参加者） 石屋，副島，中野（3 名）

（オブザーバー） 杉山（1 名）

4. 配付資料

F10Ph2SC33-0 第 32 回 LLW 放射能評価分科会 議事録案

F10Ph2SC33-1-1 第 72 回原子燃料サイクル専門部会議事録(案) (抜粋)

F10Ph2SC33-1-2 第 70 回標準委員会議事録(案) (抜粋)

F10Ph2SC33-2-1 L2L3 放射能評価標準改定案について

F10Ph2SC33-2-2 前回分科会でのコメント対応表

F10Ph2SC33-2-3 L2L3 放射能評価標準 附属書 G 改定前後比較表

F10Ph2SC33-2-4 L2L3 放射能評価標準 附属書 H 改定前後比較表

F10Ph2SC33-2-5 L2L3 放射能評価標準 附属書 I 改定前後比較表

F10Ph2SC33-2-6 L2L3 放射能評価標準 附属書 J 改定前後比較表

F10Ph2SC33-2-7 L2L3 放射能評価標準 附属書 L 改定前後比較表

F10Ph2SC33-3 「LLW 放射能評価分科会」の審議の基本計画

F10Ph2SC33-参考 1 LLW 放射能評価分科会 (F10Ph2SC) 委員名簿

F10Ph2SC33-参考 2 LLW 放射能評価分科会 (F10Ph2SC) の基本工程

F10Ph2SC33-参考 3 倫理教育資料

5. 議事

（1）出席委員の確認

北島幹事より，開始時点で委員 18 名中 16 名の出席があり（代理出席含む），決議に必要な委員数（12 名以上）を満足している旨の報告があった。

(2) 前回議事録案の確認

北島幹事より、前回分科会の議事録案について説明があり、承認された。

(3) L1 放射能評価標準の標準委員会本報告について

北島幹事より、L1 放射能評価標準について、原子燃料サイクル専門部会及び標準委員会への本報告の議事録案について紹介された。現在、標準委員会の決議投票中である。

(4) L2L3 放射能評価標準改定案について

本山常時参加者より、第 32 回で説明した L2・L3 放射能評価標準改定案 (F10Ph2SC32-2) に対するコメント対応状況及び現行標準への追記内容について説明があり、以下の質疑応答、コメントがあった。

前回分科会におけるコメント対応表 (F10Ph2SC33-2-2)

- ・修正内容については了承された。

L2L3 放射能評価標準 附属書 G 改定前後比較表 (F10Ph2SC33-2-3)

- ・式より判断して、パラメータの説明に「kg」が必要な部分があるはずである。(資料 2 頁)
 - ⇒ 拝承。確認・修正する。
- ・浜岡のような具体的名称を上げるのではなく、「事例として」とすべきではないか。(資料 5 頁)
 - ⇒ 拝承。「事例として」と記載することとし、その内容の出典を明記する。
- ・「G. 2. 2. 3 a) 1) 表面汚染の場合」で Ge 検出器について追記しているが、例えば、「3) 内部汚染の場合」は、使用しないのか。(資料 5 頁)
 - ⇒ 使用することも可能である。その他についても「Ge 検出器」を使用可能な部分には追記する。
- ・図 G. 9 の図の評価点の位置と線量当量率結果とが、一致していないと思われる。(資料 22 頁)
 - ⇒ 拝承。確認し、必要であれば修正する。
- ・図 G. 9 の線原位置の図について位置関係の説明を追記した方がよい。(資料 22 頁他)
 - ⇒ 拝承。追記する。
- ・「G. 2. 3. 5」の結論としては、測定誤差は大きくない、ということか。(資料 24 頁)
 - ⇒ 必ずしもそのような意味ではない。「事例」であることを明記する。
- ・「G. 2. 4」の計算体系を示した方がよい。また、検出器の位置なども示すべきかと思う。(資料 25 頁等)
 - ⇒ 拝承。追記する。
- ・図 G. 18～21 の説明が理解しづらいため、もう少し説明を加えた方がよいと思う。(資料 27 頁等)
 - ⇒ 拝承。説明内容を見直す。
- ・図 G. 22～27 (例えば凡例の数値) が理解しづらいため、説明などを加えた方がよいと思う。(資料 29 頁等)
 - ⇒ 資料 17 頁に示した体系に基づき、その計算結果を示しているが、理解しづらい点については、例えば、図中に目盛を入れるなどの対応を行う。

L2L3 放射能評価標準 附属書 H 改定前後比較表 (F10Ph2SC33-2-4)

⇒ 附属書 G でのコメント対応を反映し、具体的な発電所名は削除し、具体的な内容は出典に示すこととする。(資料 1 頁)

・「H.2 第 3 パラグラフ」の記述は「代表的」とはいえないのではないか。(資料 1 頁)

⇒ 拝承。適切な用語を再考する。

・「H.2 第 4 パラグラフ」の箇条書きの「混合」は、それぞれ意味が異なるのではないか。(資料 1 頁)

⇒ 拝承。それぞれの説明を追記する。

L2L3 放射能評価標準 附属書 I 改定前後比較表 (F10Ph2SC33-2-5)

・「I.2」における 2 番目の箇条書き(「廃棄体内の汚染源などが同じである場合...」)は理解しづらいのではないか。(資料 1 頁)

⇒ 拝承。表現を再考する。(削除の可能性もあり)

L2L3 放射能評価標準 附属書 J 改定前後比較表 (F10Ph2SC33-2-6)

・改定内容については了承された。

L2L3 放射能評価標準 附属書 L 改定前後比較表 (F10Ph2SC33-2-7)

・「L.4」にある「廃止措置の申請」は、正しい表現か。(資料 17 頁)

⇒ 拝承。表現を再考する。

その他(全体)

・「固型」が「固形」となっている箇所が見られるため修正をお願いする。

⇒ 拝承。確認及び修正を行う。

(5) 標準改定の全体計画

北島幹事より、LLW 放射能評価分科会の基本工程について、説明が行われた。

(6) 倫理教育

北島幹事より、倫理教育について、説明が行われた。

6. 次回の予定

次回分科会は、2017 年 11 月 13 日(月)(13:30～、原子力安全推進協会の会議室)とし、正式な案内は、別途、事務局から連絡する。

以 上